

2026年 1月24日|土| — 5月18日|月|

春の訪れを花の絵画でたのしむ—仏教美術の新収蔵作品も紹介

今回は、うらかな春を思わせる花の絵画を中心に、上原コレクションの名品を、平安時代から近代までの幅広い時代の中からご紹介します。

近代館の企画展『春、花めく』は、横山大観《夜桜》を中心に、春の花を描いた絵画をご紹介します。冬の寒さの余韻が残る薄暗闇に、赤々と揺らめく篝火と、それに照らし出される桜を描いた横山大観《夜桜》は、山桜の素朴で美しい姿が夜空へと浮かび上がるようです。その他、それぞれの画家の個性が際立つ春の花の絵画を展示室でごゆっくりとお楽しみください。

仏教館では『東風吹かば 仏教東漸』を開催、作品を展示します。新収蔵・初公開の《華嚴経断簡（二月堂焼経）》は、奈良・東大寺二月堂に伝来した、奈良時代の紺紙銀字経です。二月堂が江戸時代に焼失した際に残った本経は、焼け滲みの美しさから愛好家に珍重され伝世している作品です。大陸からさまざまな文化を受容して、日本へと伝わった仏教美術作品を上原コレクションからご紹介します。

展覧会概要

- 1) 展覧会名 【近代館】 企画展 花、春めく
 【仏教館】 企画展 東風吹かば 仏教東漸^{ぶつぎょうとうぜん}
- 2) 出品予定作品数 【近代館】 約 40 点
 【仏教館】 約 25 点
- 3) 会期 2026 年 1 月 24 日(土)～5 月 18 日(月) 115 日間 * 会期中無休
- 4) 開館時間 9:30 – 16:30(最終入館は 16:00 まで)
- 5) 会場 上原美術館 近代館・仏教館
 〒413-0715 静岡県下田市宇土金 341
- 6) 料金 一般 1,000 円／学生 500 円／高校生以下無料
 ※団体 10 名以上 10%割引
 ※障がい者手帳をお持ちの方は半額になります
 ※5 月 18 日は国際博物館の日を記念して入館無料
- 7) ギャラリートーク
 展覧会をより深くお楽しみいただける、学芸員による作品解説を行います。
 開催日時 展覧会会期中の毎月第 3 土曜日
 【近代館】10:00～ 【仏教館】11:00～ 各回約 50 分
 参加方法 時間になりましたら展示室へお集まりください。※要入館券

一 展覧会の見どころ

【近代館】 花、春めく

■ 桜、チューリップ、梅など色とりどりの花の絵画

本展では桜をはじめ、チューリップ、梅、椿、スミレなど春に咲く花々を描いた絵画を、上原コレクションよりご紹介します。

桜は春を象徴する花の一つで、古くから多くの画家たちに描かれてきました。安井曾太郎^{はちがたじょうし}《桜と鉢形城址》は、明るくやわらかな桜の色彩がのどやかな季節の到来を知らせます。

小林古径^{こけい}《草花》は、チューリップの花弁を黒で彩ることで、洗練された清らかさを一層際立たせています。さらに、ずっと伸びた茎^{せんびよう}の線描は、澄んだ空気まで運んでくるかのようです。そのほか、花を通してうつろいゆく春をやさしく、ときに鋭いまなざしで捉えた画家たちの作品をお楽しみいただけます。



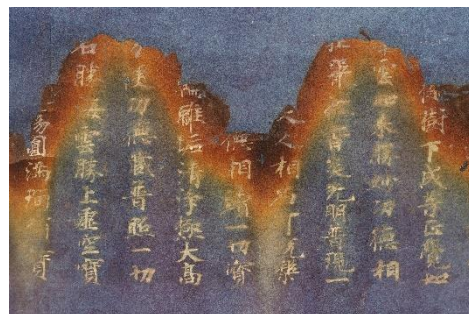
小林古径《草花》1951(昭和26)年

【仏教館】 東風吹かば 仏教東漸^{とうぜん}

■ さまざまな文化がであい、昇華した仏教美術

本展では、新収蔵・初公開となる《華嚴經断簡(二月堂焼^{きよう}経)》を中心に、大陸から日本へと伝来し、昇華された仏教美術を上原コレクションよりご紹介します。

紺紙に銀字で書写された《華嚴經断簡(二月堂焼経)》は、もともと六十巻書写され、奈良・東大寺の二月堂に伝来しました。江戸時代に修二会^{しゅにえ}を行った際、二月堂が焼失、経典は燃え残りました。奈良時代に書写された本経は、字の美しさもさることながら、紙の焼け滲みの儂くも美しい風情が、書の愛好家に分蔵、珍重され伝来してきたものです。



《華嚴經断簡(二月堂焼経)》部分※新収蔵・初公開

そのほか新収蔵・初公開となる墨書が美しい《大般若波羅蜜多經卷三百六(薬師寺経)》^{だいはんにはやはら みつたきようまきさんびやくろく やくしききよう}や、オリエントにそのルーツをもつ《狛犬》^{こまいぬ}、中国・唐時代の影響を残し、ふっくらとしたお顔と優美な姿が魅力の《十一面観世音菩薩像》(重要美術品)などを展示いたします。

一 主な出品予定作品

[近代館]

1. 横山大観《夜桜》 1947(昭和 22)年 紙本彩色 55.9×68.8 cm
2. 安井曾太郎《桜と鉢形城址》 1945(昭和 20)年頃 油彩、カンヴァス 60.2×72.7 cm
3. 小林古徑《草花》 1951(昭和 26)年 紙本彩色 48.7×63.5 cm
4. 小倉遊亀《チューリップ》 制作年未詳 紙本彩色 73.3×54.3 cm ほか

[仏教館]

1. 《華嚴經断簡(二月堂焼経)》 奈良時代 紺紙銀泥 ※新収蔵・初公開
2. 《大般若波羅蜜多經卷三百六(薬師寺経)》 奈良時代 紙本墨書 ※新収蔵・初公開
3. 《十一面観世音菩薩像》 平安時代 木造・彫眼・漆箔 重要美術品
4. 《狛犬》 平安末～鎌倉時代 木造・彫眼・漆箔 ほか

一広報用画像

本展紹介記事等を記載される場合、以下の画像と展覧会チラシデータをご提供できます。

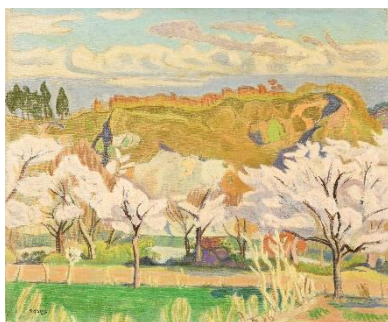
電話、またはメールにてご連絡ください。

※画像掲載をする場合、作品クレジットの明記をお願いいたします。

※所蔵先表記のないものは当館所蔵になります。



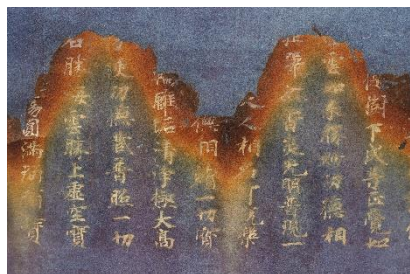
1.横山大観 《夜桜》
1947(昭和 22)年



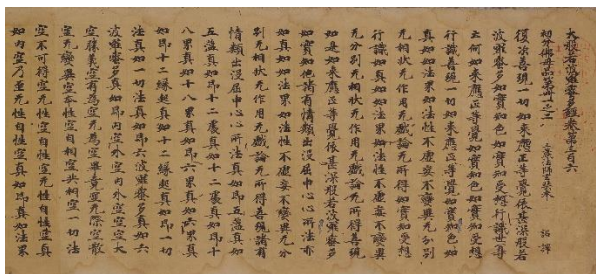
2.安井曾太郎《桜と鉢形城址》
1945(昭和 20)年頃



3.小林古径《草花》
1951(昭和 26)年



4.《華嚴經断簡(二月堂焼経)》部分
奈良時代 ※新収蔵・初公開



5.《大般若波羅蜜多經卷三百六(薬師寺経)》
奈良時代 重要美術品 ※新収蔵・初公開

お問い合わせ：公益財団法人 上原美術館
【近代館】土屋絵美 【仏教館】桜井和香子
〒413-0715 静岡県下田市宇土金 341
Tel. 0558-28-1228 / Fax. 0558-28-1227
E-mail: info@uehara-museum.or.jp